

鹿角市植樹祭を行いました

令和4年5月20日（金）、鹿角市緑化推進委員会、鹿角市、当署主催による「鹿角市植樹祭」が令和3年7月27日、「北海道・北東北の縄文遺跡群」のひとつとしてユネスコ世界遺産に登録された鹿角市十和田大湯ストーンサークル内の会場で、市制施行50周年記念と併せて、実施しました。

植樹祭は縄文時代の植生を再現するための取組となっており、昨年度は新型コロナの影響で、参加者を50人程に制限しましたが、今年度は市内の小中学生、各自治会、市議、林業関係者ら約200名の参加の中、晴天にめぐまれ、ブナ、ミズナラ、トチノキ、ヤマザクラなどの広葉樹450本を植樹しました。参加者は、新型コロナの終息とともに県内はもとより、日本中からの来訪の期待を込めて、思い思いに、植樹を行っていました。

今日の植樹が貴重な思い出になるものと思います。数十年後には鬱蒼とした「縄文の森」が蘇ることでしょう。



（鹿角市長と中学生徒で植樹記念標を埋設）



（署長と小学児童で広葉樹の苗を植樹）



(植樹の様子)



(当日の参加者)